

# 平成30年福岡県鉱工業指数の動向

## 1 概況

(1) 業種別動向（全19業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

### ① 生産

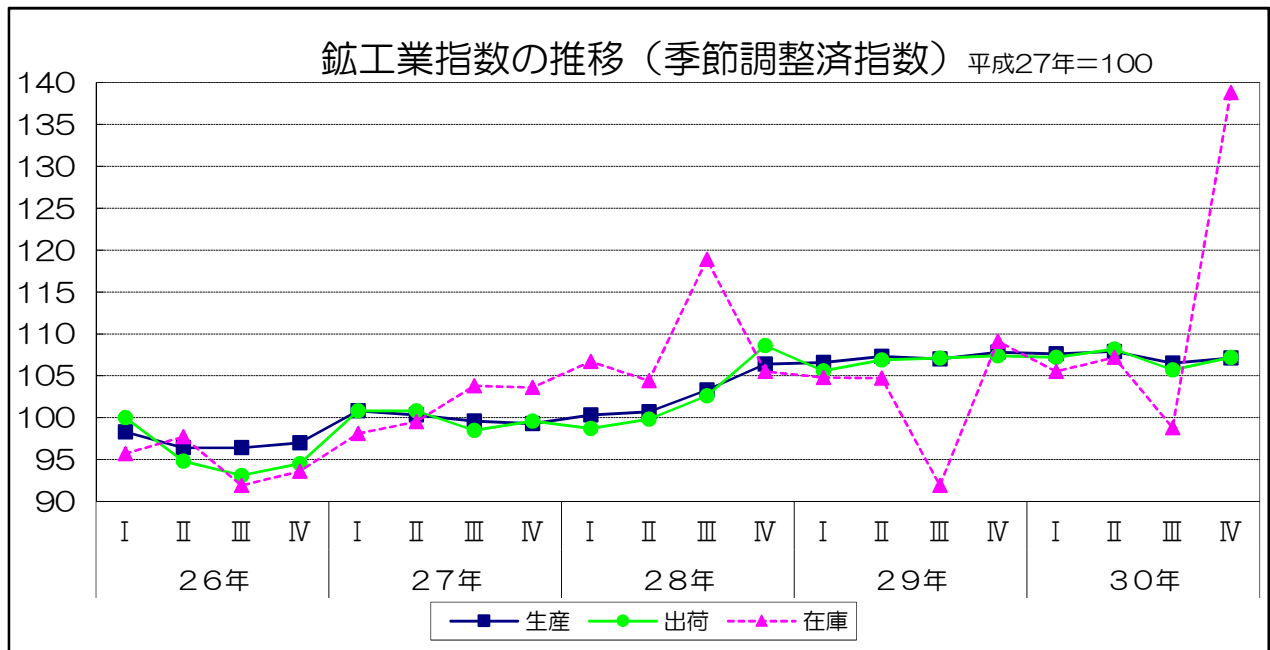
30年の生産指数は107.4で、前年比0.3%増と5年連続の上昇となった。  
業種別では、汎用・生産用機械工業、家具工業など9業種は低下したものの、  
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など10業種が上昇した。

### ② 出荷

30年の出荷指数は107.2で、同0.5%増と5年連続の上昇となった。  
業種別では、食料品・たばこ工業、汎用・生産用機械工業など9業種は低下したものの、  
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など10業種が上昇した。

### ③ 在庫（全18業種）

30年の在庫指数は135.8で、同29.7%増と4年連続の上昇となった。  
業種別では、窯業・土石製品工業、家具工業など5業種は低下したものの、  
輸送機械工業、鉄鋼業など13業種が上昇した。

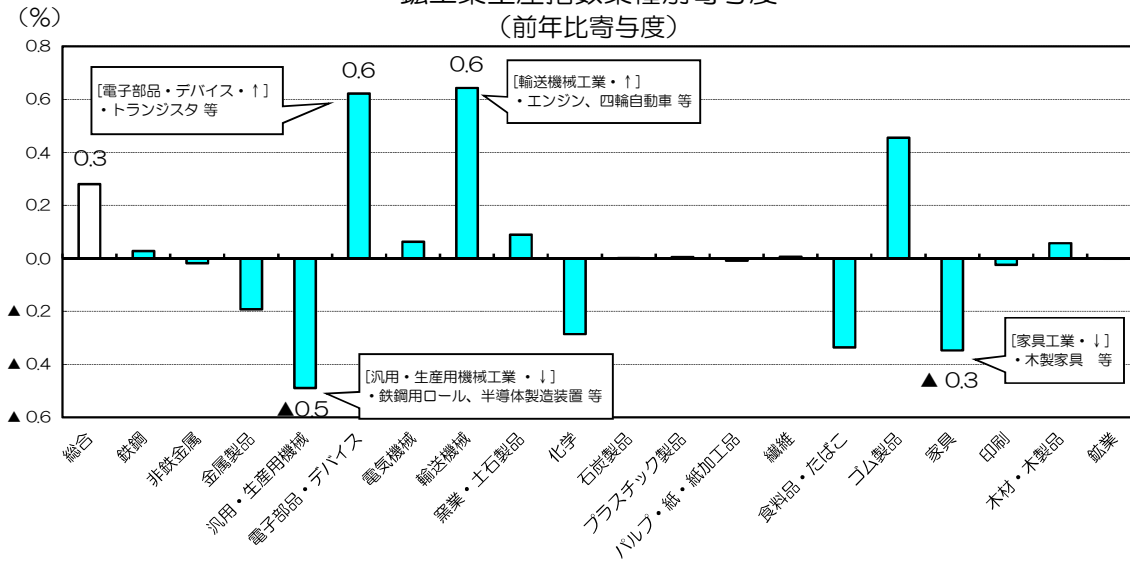


鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

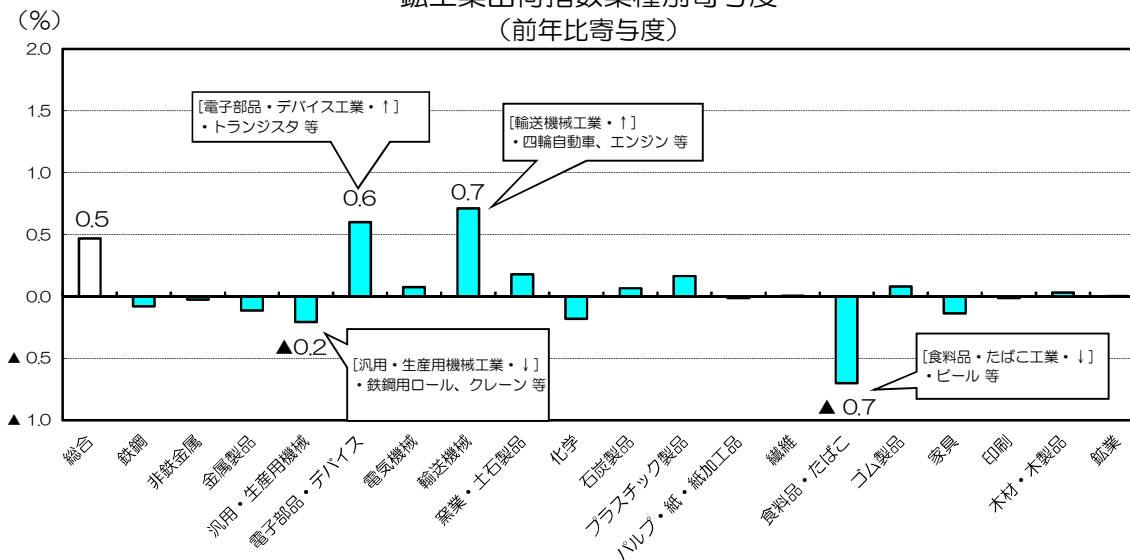
平成27年=100

	26年	27年	28年	29年	30年	平成27年=100			
						I	II	III	IV
生産	97.0	100.0	102.7	107.1	107.4	107.6	107.9	106.5	107.1
前期(年)比	2.3	3.1	2.7	4.3	0.3	▲0.2	0.3	▲1.3	0.6
前年同期比	—	—	—	—	—	1.1	0.7	▲0.9	0.1
出荷	95.6	100.0	102.5	106.7	107.2	107.2	108.2	105.7	107.2
前期(年)比	0.4	4.6	2.5	4.1	0.5	▲0.2	0.9	▲2.3	1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	1.8	1.8	▲2.5	0.8
在庫	92.7	101.2	102.0	104.7	135.8	105.5	107.2	98.8	138.8
前期(年)比	▲9.6	9.2	0.8	2.6	29.7	▲3.3	1.6	▲7.8	40.5
前年同期比	—	—	—	—	—	1.0	11.7	4.6	29.7

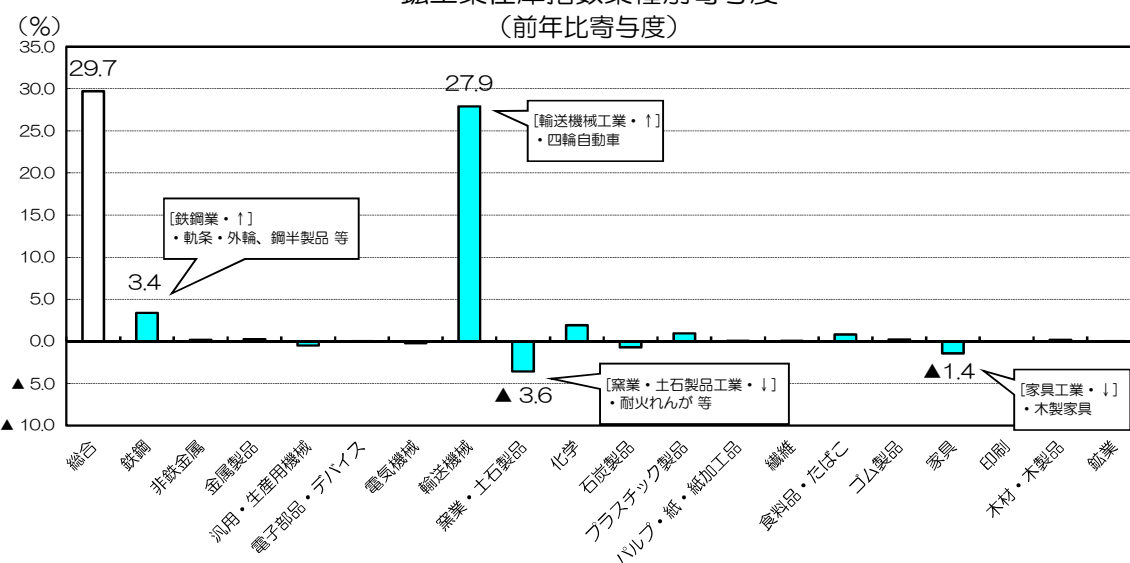
鉱工業生産指数業種別寄与度  
(前年比寄与度)



鉱工業出荷指数業種別寄与度  
(前年比寄与度)



鉱工業在庫指数業種別寄与度  
(前年比寄与度)



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

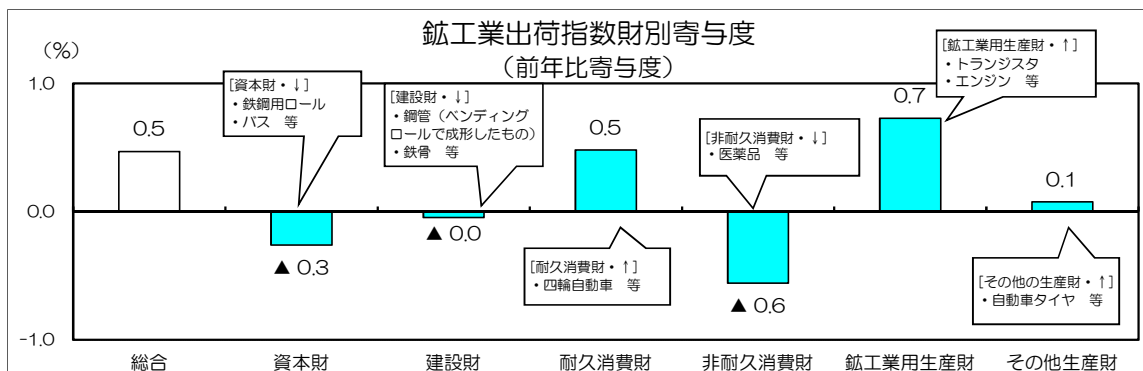
(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

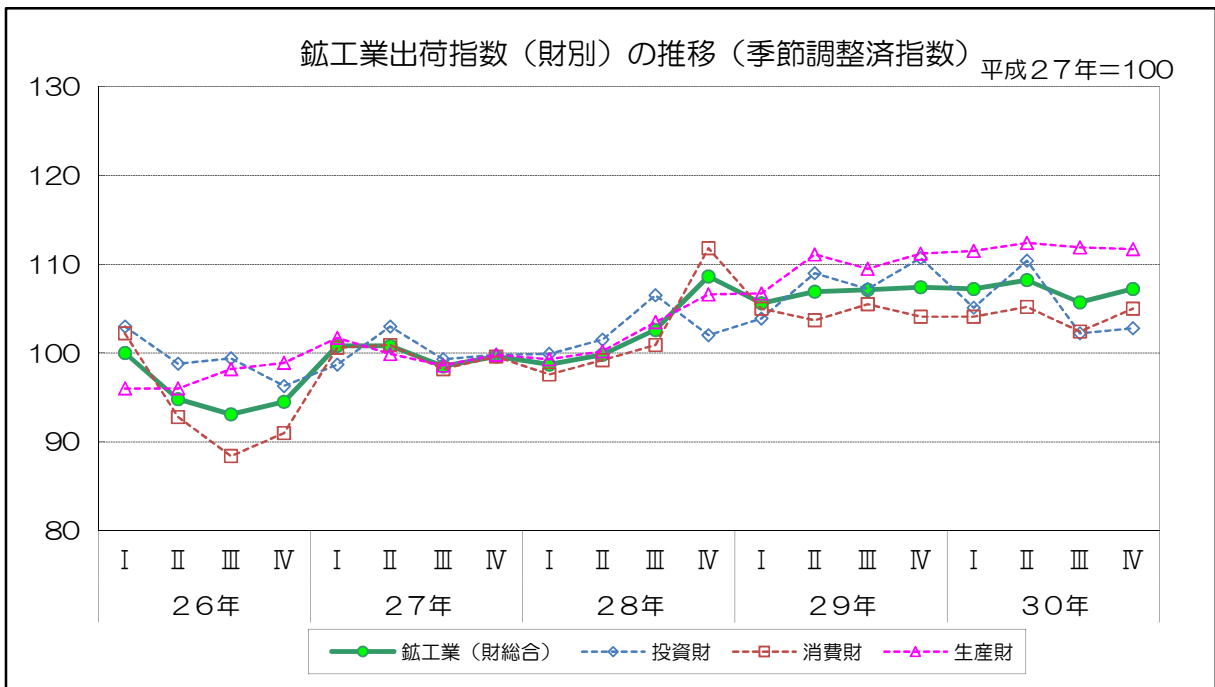
- 総合出荷指数は107.2で、前年比0.5%増で5年連続の上昇となった。最終需要財は同0.6%減と4年ぶりの低下となった。生産財は同2.1%増と5年連続の上昇となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、鉄鋼用ロール、バスなどが低下したため、同3.4%減の低下となった。建設財は、鋼管（バンディングロールで成形したもの）、鉄骨などが低下したため、同0.9%減と3年ぶりの低下となった。耐久消費財は、四輪自動車などが上昇したため、同1.3%増で4年連続の上昇となった。非耐久消費財は、医薬品などが低下したため、同3.9%減で2年連続の低下となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、トランジスタ、エンジンなどが上昇したため、同2.3%増と5年連続の上昇となった。その他の生産財は、自動車タイヤなどが上昇したため、同1.4%増と2年連続の上昇となった。

鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整指数） 平成27年=100

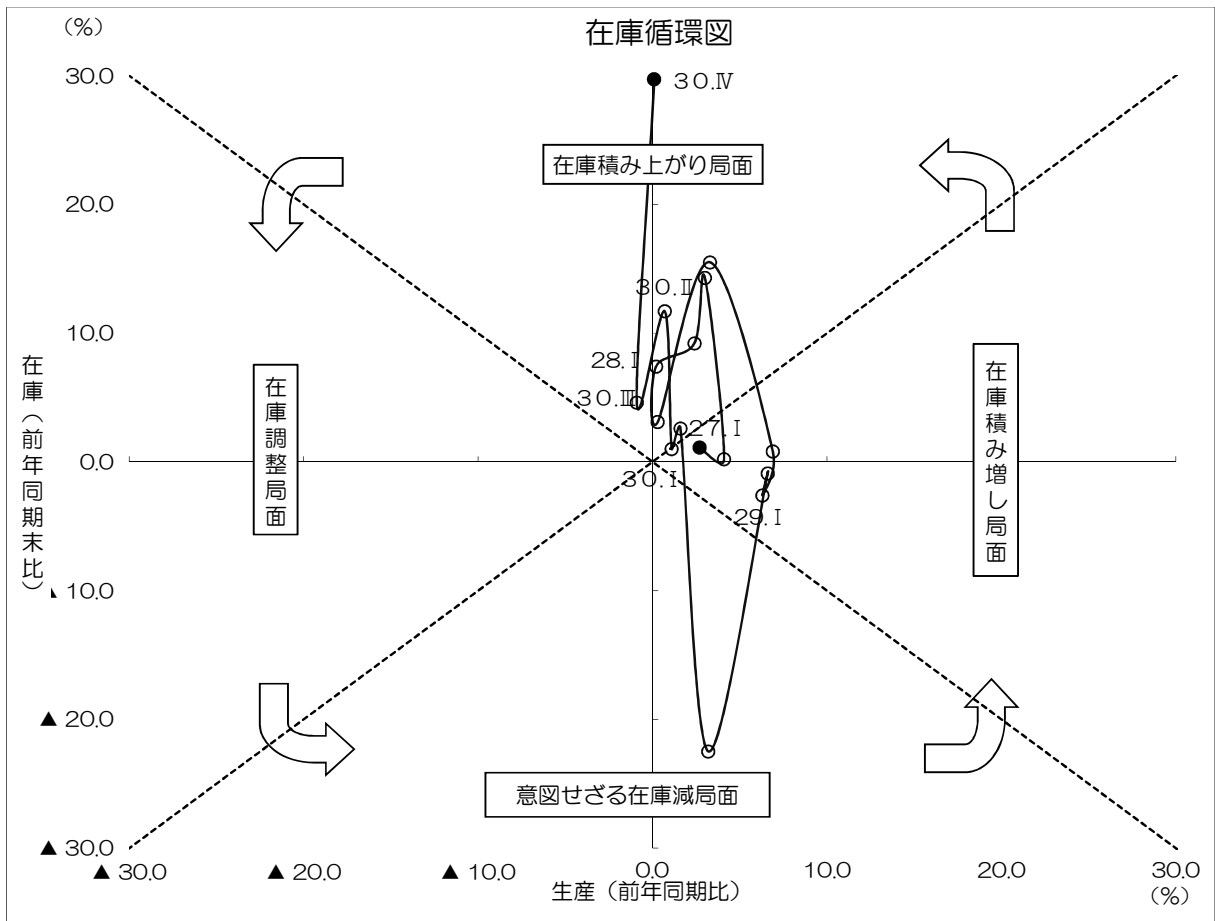
	26年	27年	28年	29年	30年	平成27年=100			
						I	II	III	IV
鉱工業総合	95.6	100.0	102.5	106.7	107.2	107.2	108.2	105.7	107.2
前期（年）比	0.4	4.6	2.5	4.1	0.5	▲0.2	0.9	▲2.3	1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	1.8	1.8	▲2.5	0.8
最終需要財	94.6	100.0	102.6	105.0	104.4	104.7	106.3	102.1	104.3
前期（年）比	▲1.8	5.7	2.6	2.3	▲0.6	▲0.6	1.5	▲4.0	2.2
前年同期比	—	—	—	—	—	0.5	2.0	▲4.9	0.5
投資財	99.1	100.0	102.3	107.8	105.2	105.1	110.4	102.2	102.8
前期（年）比	5.7	0.9	2.3	5.4	▲2.4	▲5.1	5.0	▲7.4	0.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.6	2.6	▲5.2	▲6.2
資本財	93.8	100.0	101.1	109.5	105.8	108.6	111.7	101.4	101.3
前期（年）比	19.8	6.6	1.1	8.3	▲3.4	▲5.4	2.9	▲9.2	▲0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	2.5	2.0	▲6.7	▲10.3
建設財	107.3	100.0	104.2	105.3	104.3	101.6	107.6	103.5	103.9
前期（年）比	▲8.8	▲6.8	4.2	1.1	▲0.9	▲3.5	5.9	▲3.8	0.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.9	3.6	▲2.7	0.5
消費財	93.5	100.0	102.7	104.4	104.2	104.1	105.2	102.4	105.0
前期（年）比	▲3.4	7.0	2.7	1.7	▲0.2	0.0	1.1	▲2.7	2.5
前年同期比	—	—	—	—	—	0.7	1.8	▲4.9	2.3
耐久消費財	92.3	100.0	102.0	105.0	106.4	105.4	108.2	104.0	108.2
前期（年）比	▲3.5	8.3	2.0	2.9	1.3	1.7	2.7	▲3.9	4.0
前年同期比	—	—	—	—	—	1.0	4.5	▲5.3	5.7
非耐久消費財	96.4	100.0	104.6	102.9	98.9	101.3	98.0	99.1	98.1
前期（年）比	▲3.5	3.7	4.6	▲1.6	▲3.9	▲4.2	▲3.3	1.1	▲1.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.4	▲4.8	▲4.1	▲6.0
生産財	97.3	100.0	102.3	109.7	112.0	111.5	112.4	111.9	111.7
前期（年）比	4.2	2.8	2.3	7.2	2.1	0.3	0.8	▲0.4	▲0.2
前年同期比	—	—	—	—	—	4.2	1.5	1.8	1.3
鉱工業用生産財	96.4	100.0	103.7	112.5	115.1	114.8	116.0	114.8	114.6
前期（年）比	4.3	3.7	3.7	8.5	2.3	0.3	1.0	▲1.0	▲0.2
前年同期比	—	—	—	—	—	4.7	2.1	2.1	0.7
その他用生産財	101.7	100.0	95.5	95.9	97.2	96.0	95.4	96.9	99.3
前期（年）比	3.5	▲1.7	▲4.5	0.4	1.4	0.3	▲0.6	1.6	2.5
前年同期比	—	—	—	—	—	0.8	▲1.8	0.9	5.1



※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



(3) 在庫循環図（27年1～3月期から30年10～12月期）  
 在庫循環状況を見ると、30年は「在庫積み上がり局面」のまま推移している。



※在庫循環図の見方  
 横軸に生産、縦軸に在庫の前年同月（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。  
 一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。